

アメダス観測年報 CD-ROM (2004 年版以降) METI-LIS モデル入力用データ変換ツール ユーザーマニュアル

平成 19 年 3 月

< プログラムの概要 >

アメダス年報 2004 年版より、一部データのフォーマットが変更になりました。

また、1976～2003 年についてのアメダス年報については、「気象観測統計指針 (2005)」により再計算した過去の統計値を収録した「アメダス再統計値」を利用する事となりましたが、このデータについても、アメダス年報 2004 年版と同じフォーマットに変更されています。

このプログラムは、アメダス年報 2004 年版 (以下「新版」) の地域気象観測時別値データ (以下「アメダスデータ」) のフォーマットを、アメダス年報 2003 年版以前 (以下「旧版」) のフォーマットに変換するプログラムです。

旧版のアメダスデータフォーマットは、2000 年～2003 年 (以下「旧版 2000」) と、1999 年以前 (以下「旧版 1999」) で異なります。本プログラムでは、2000 年以降のアメダスデータは旧版 2000 フォーマットに、1999 年以前のアメダスデータは旧版 1999 フォーマットに変換を行います。

本プログラムの最新のバージョンは、1.0 です。

< 動作条件 >

- ・ OS : Windows2000、Windows XP
 - ・ メモリ : 256MB 以上推奨
 - ・ 500KB 程度の空き容量 (プログラムのインストールドライブ)
 - ・ データ 1 年分あたり 500MB 程度の空き容量 (旧版フォルダ作成ドライブ)
- ※アメダス再統計値 CD-ROM を使用する場合、データ解凍に 1GB 程度の空き容量が必要

< プログラムの利用に際して >

本ソフトウェアは独立行政法人 産業技術総合研究所 化学物質リスク管理研究センターが提供するもので、どなたでも無償にてご利用いただけます。内容に関するお問い合わせに関しては一切回答致しません。著作者及び製造・配布に関わるいかなる者も、当ソフトウェアの使用、または使用不能によって発生する損害に対する責任は、それが直接的であるか間接的であるか、必然的であるか偶発的であるかに関わらず、負わないものとします。

< インストール・アンインストール >

1. インストール

①ダウンロードサイトの「→アメダスデータ変換ツールのダウンロード」をクリックすると、お使いのパソコンに「AMeDAS_conv_for_METI-LIS_V1.0.zip」という名のフォルダが作られます。このフォルダを開き（図 1-1）、中にある”setup.exe”をダブルクリックするとインストールが開始されますので、メッセージに従って進めてください。



図 1-1 ダウンロードしたフォルダ中のファイル表示例

②特に設定を変更しない限り、「C:\Program Files\AMeDAS_hConv」フォルダが作成され、フォルダ内には以下の2つのファイルが作成されます（図 1-2）。

“AMeDAS_hConv.exe” : 変換プログラム本体です。

“ST6UNST.LOG” : アンインストール時に使用します（削除しないでください）。

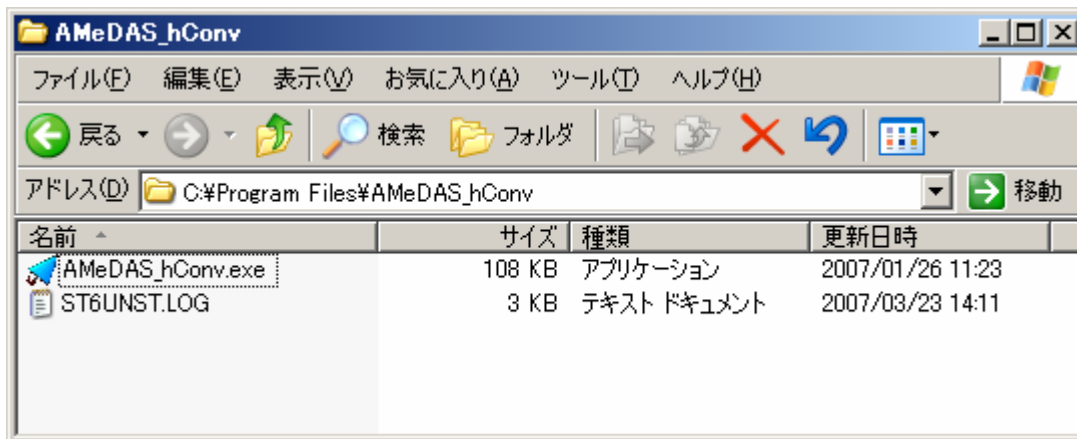


図 1-2 インストールフォルダの表示例

インストールの完了後は「AMeDAS_conv_for_METI-LIS_V1.0.zip」は削除しても支障ありません。

2. アンインストール

コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除（Windows2000 の場合）」または「プログラムの追加と削除（Windows XP の場合）」から、「アメダス年報 新版→旧版変換（特別値）」を選択し、削除してください。

< 操作方法 >

1. プログラムの起動

エクスプローラ等から“AMeDAS_hConv. exe”を実行するか、「スタート」→「プログラム」→「アメダス年報（または、インストール時に指定したプログラムグループ名）」→「新版→旧版変換(時別値)」を選択すると、起動します（図 2）。

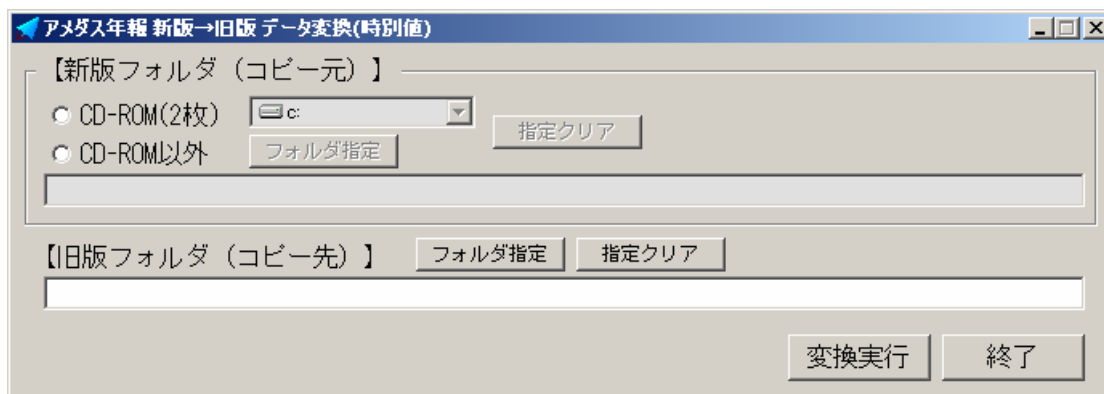


図 2 アメダス年報 新版 旧版変換プログラム初期画面

2. アメダスデータの変換

2.1 (財)気象業務支援センター発行の 2004 年以降の CD-ROM を使用する場合

2.1.1 新版フォルダの指定

- (1) 【新版フォルダ (コピー元)】で「CD-ROM(2枚)」を選択します。
- (2) 「CD-ROM(2枚)」右側のリストボックスから、CD-ROMを入れるドライブを選択します。
- (3) 1枚目のCD-ROMを、(2)で選択したCD-ROMドライブに入れます。

2.1.2 旧版フォルダの指定

- (1) 【旧版フォルダ (コピー先)】右側の「フォルダ指定」ボタンを押し、変換データを保存するフォルダを指定するか（図 3）、【旧版フォルダ (コピー先)】下のテキストボックスに、直接変換データを保存するフォルダのパスを入力します（図 4 参照）。なお、ここでは新規に旧版フォルダを作成する事はできませんので、必要な場合はあらかじめフォルダを作成しておいてください。

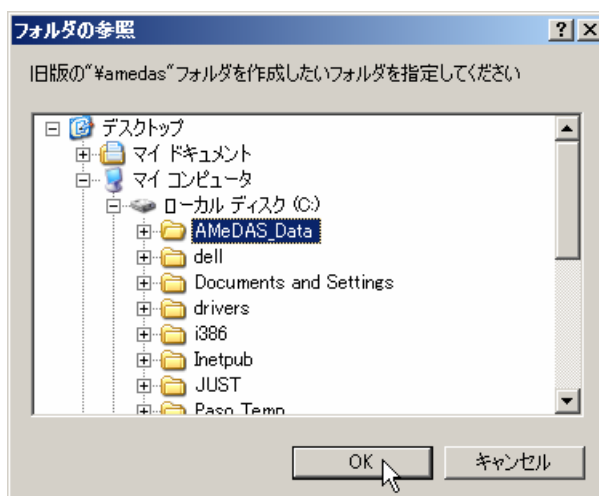


図 3 旧版フォルダ指定画面の表示例

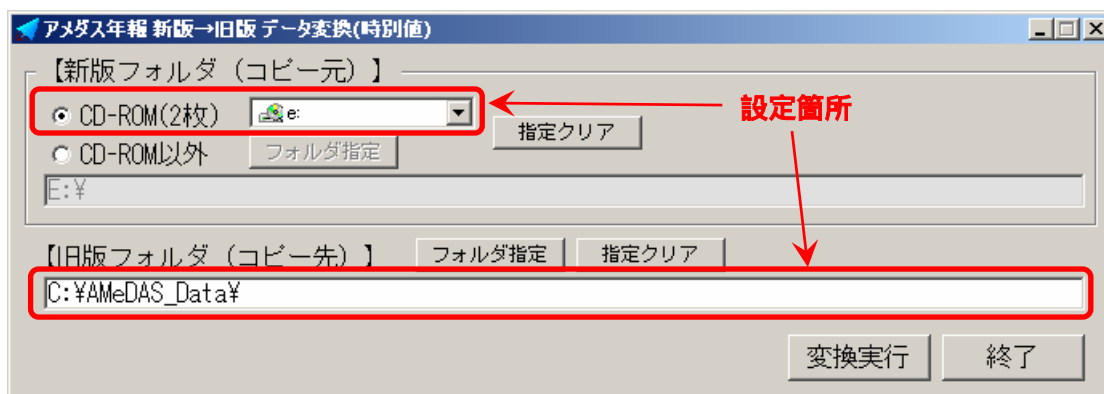


図 4 2004 年以降の CD-ROM 使用時の変換設定例

2.1.3 変換の実行

- (1) 画面右下の「変換実行」ボタンを押します。
- (2) 実行確認のメッセージが表示されますので「はい」を選択します。変換処理が始まると、ウィンドウ下に処理状況を示すバーとメッセージが表示されます（図 5）。

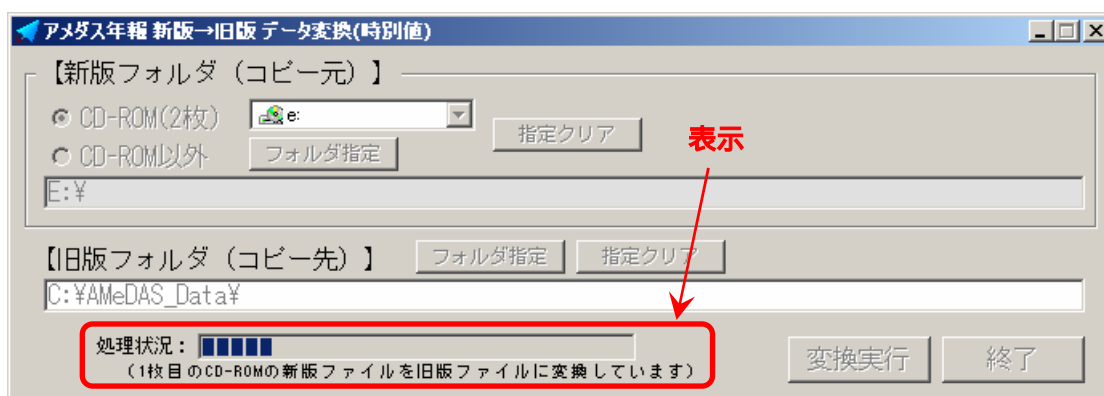


図 5 変換実行中の画面表示例

- (3) 変換時にエラーが発生した場合、エラーメッセージが表示され、処理が中断されます。メッセージに従って対処を行った後、再実行してください（表 1 参照）。既に変換先のフォルダが作成された後でエラーが発生した場合は、【旧版フォルダ（コピー先）】に作成された“amedas”フォルダを削除するかどうかの確認メッセージが表示されます（図 6）。削除する場合「はい」を、削除しない場合「いいえ」を選択してください。

表 1 エラーメッセージと対処法の例

エラーメッセージ	対処法
新版フォルダの読み込みフォルダが設定されていません。	新版フォルダが「CD-ROM (2 枚)」か「CD-ROM 以外」か、選択を行ってください。
新版フォルダに指定されたドライブは、CD-ROM ドライブではありません。	新版フォルダが「CD-ROM (2 枚)」である場合、ドライブの再指定を、「CD-ROM 以外」の間違った場合は、「CD-ROM 以外」を選択した後、新版フォルダの設定を行ってください。
新版[旧版]フォルダの指定がされていません。	フォルダ名がブランクまたは2文字以下です。フォルダ名を設定し直してください。
フォルダの指定が正しくされていません。	
新版フォルダと旧版フォルダに同一のフォルダを指定しています。	新版フォルダと旧版フォルダは別のフォルダを指定してください。

エラーメッセージ	対処法
指定された新版[旧版]フォルダが存在しません。	フォルダ名を設定し直してください。新版フォルダのエラーの場合で、新版データに「CD-ROM(2 枚)」を指定している場合は、CD-ROMが入っているか確認してください。
新版の指定フォルダ内に"%amedas%hourly"フォルダが存在しません。	新版のアメダス CD-ROM のフォルダ・ファイル構造と異なるフォルダを、新版フォルダとして指定しています。新版フォルダの設定を再確認してください。
新版フォルダ中に、年報 CD-ROM のフォルダに該当しない名称のフォルダがあります。	
新版フォルダに観測所地点情報ファイルがありません。	
新版の観測所地点情報ファイルにエラーがあります。	観測所地点情報ファイルに問題がないか、確認してください。
ファイル内のデータが足りません。新版データを確認してください。	新版アメダスデータファイルに、ヘッダ部分等の最低限存在するはずのデータが含まれていません。新版データファイルやフォルダ設定に問題がないか確認してください。
新版ファイル中に、年報 CD-ROM のファイルに該当しない名称のファイルがあります。このファイル进行处理せずに、変換処理を続けますか？（「はい」「いいえ」の 2 択）	新版フォルダ内に、アメダスデータでないファイルが含まれています。このファイルの変換処理をスキップして処理を続行（「はい」を選択）する事も選択できますが、異なるファイルが入っている心当たりがない場合は、処理を中断（「いいえ」を選択）した方がよいでしょう。
1 枚目と同一のデータを含む CD-ROM が入っています。	2 枚目の新版アメダス年報 CD-ROM を、指定した CD-ROM ドライブに入れてください。
1 枚目の CD-ROM と同様の新版フォルダ構造をもたない CD-ROM が入っています。	
CD-ROM が入っていません。	
旧版フォルダの出力先に、書き込みできないドライブ等を指定しています。または、旧版フォルダを開いているため、フォルダを完全に削除できません。	旧版フォルダが書き込み不可のドライブ（CD-ROM ドライブ）等になっている場合、旧版フォルダの再設定を行ってください。書き込み可のドライブを指定している場合は、旧版フォルダ内のファイルを開いている可能性等があります。
旧版フォルダの容量不足です。	旧版フォルダドライブの空き容量を増やすか、旧版フォルダの指定を別ドライブに変更してください。



図 6 旧版 amedas フォルダ削除確認メッセージ

- (4) 処理の途中で、2枚目の CD-ROM を入れるようメッセージが表示されます。メッセージが表示されたら、1枚目の CD-ROM を取り出し、2枚目の CD-ROM を入れて「OK」を押してください(図 7)。

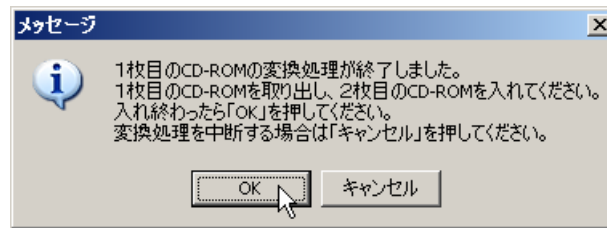


図 7 CD-ROM 交換時のメッセージ

- (5) 正常に変換が終了すると、変換完了のメッセージが表示され(図 8)、指定した旧版フォルダの下に、旧版フォーマットに変換された“amedas”フォルダが作成されます(図 9)。

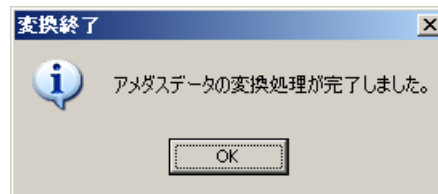


図 8 変換完了のメッセージ

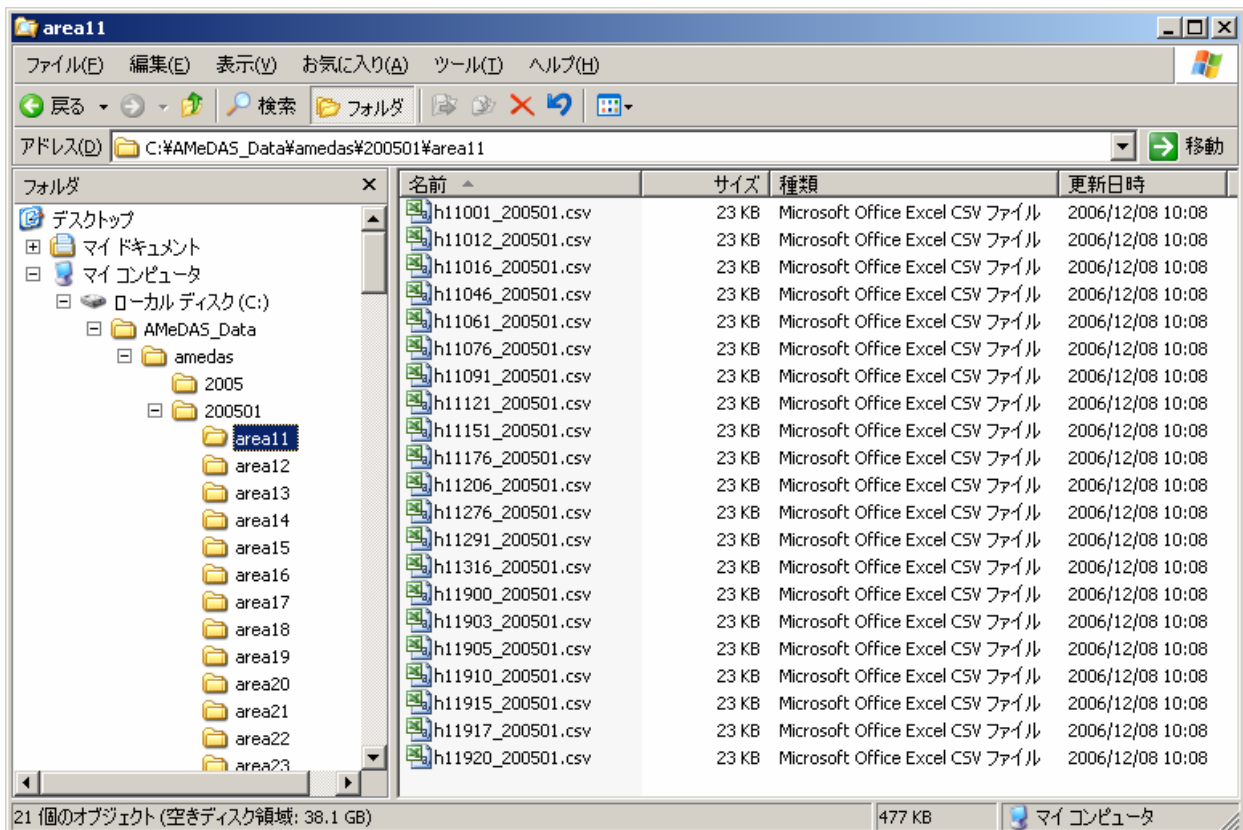


図 9 作成された“amedas”フォルダの例(旧版 2000 フォーマット)

2.2 (財)気象業務支援センター発行のアメダス再統計値 CD-ROM を使用する場合

2.2.1 新版フォルダの指定

- (1) 変換したい年のデータを、フォルダを作成して、ハードディスク等の適当な場所に解凍します(なお、特別値フォルダ(¥amedas¥hourly)以外のフォルダのデータは不要です)。
- (2) 【新版フォルダ (コピー元)】で「CD-ROM 以外」を選択します。
- (3) 【新版フォルダ (コピー元)】右側の「フォルダ指定」ボタンを押し、(1)で作成したフォルダを指定するか(図 10)、【新版フォルダ (コピー元)】下のテキストボックスに、直接(1)で作成したフォルダのパスを入力します(図 11 参照)。フォルダを指定する際には「amedas」フォルダではなく、「amedas」フォルダが入っているフォルダを指定するよう、注意してください。



図 10 新版フォルダ指定画面の表示例

2.2.2 旧版フォルダの指定

「2.1.2 旧版フォルダの指定」と同様に指定を行います。

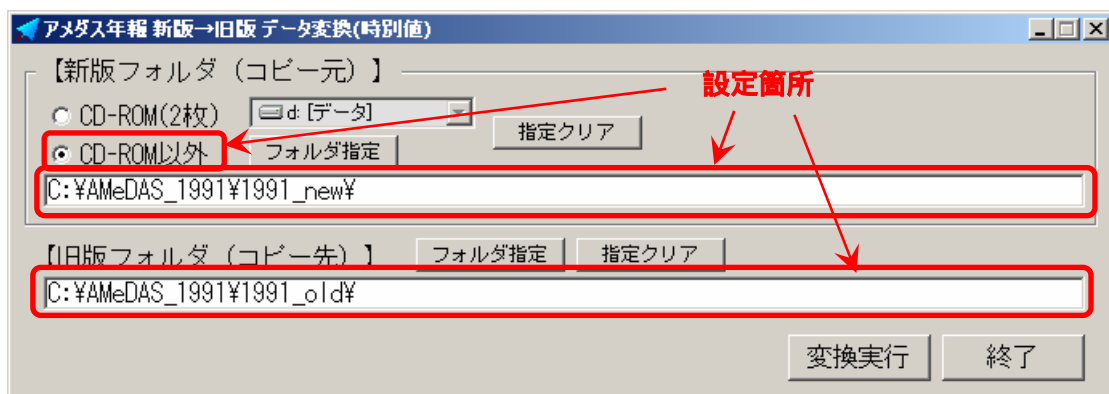


図 11 アメダス再統計値データ使用時の変換設定例

2.2.3 変換の実行

「2.1.3 変換の実行」と同様に指定を行います。ただし、(4)の CD-ROM 交換処理はありません。変換作業が終了したら、2.2.1の(1)で作成した新版フォルダは、削除して構いません。

ただし、2000年以降のアメダスデータを変換した場合(図 9 参照)と、1999年以前のアメダスデータを変換した場合(図 12)では、作成されるフォルダ及びデータが異なります。

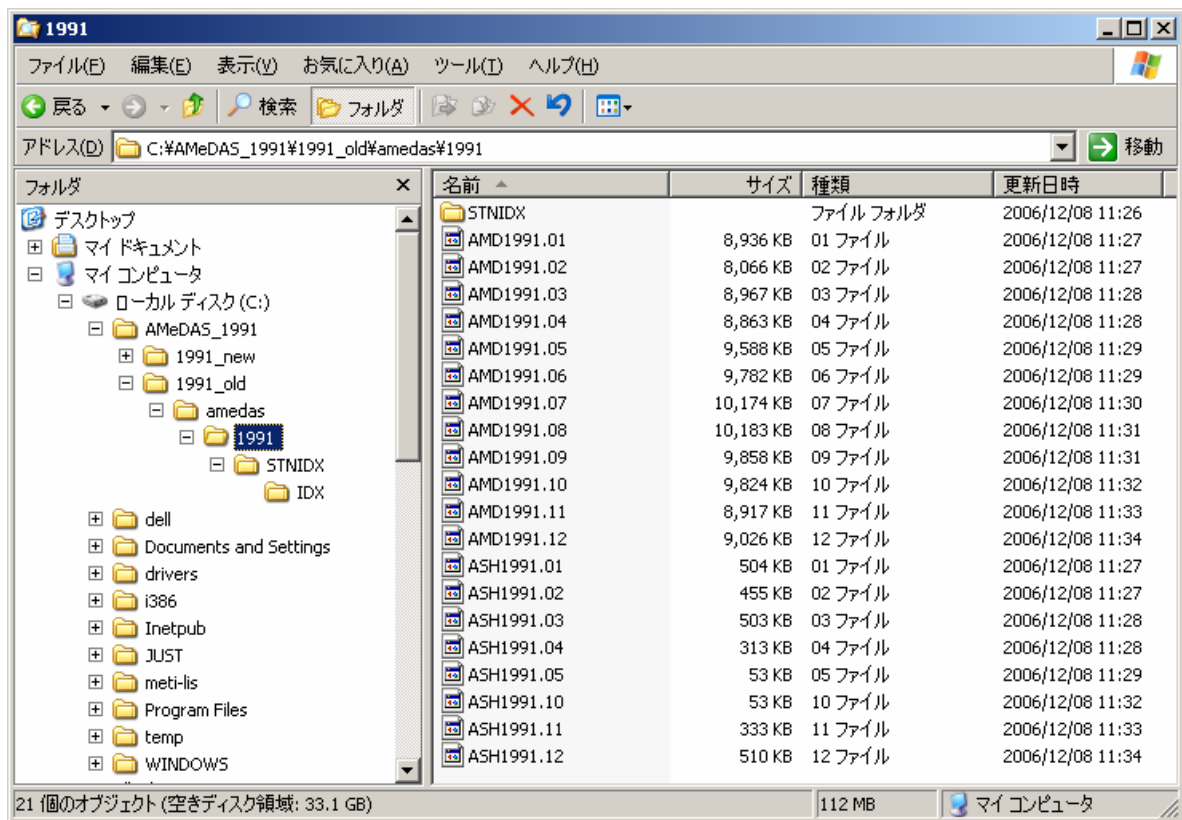


図 12 作成された“amedas”フォルダの例 (旧版 1999 フォーマット)

2.3 ハードディスクに新版データがある場合

2.3.1 新版フォルダの指定

「2.2.1 新版フォルダの指定」の(2)～(3)と同様に指定を行います。なお、新版フォルダ内の、特別値フォルダ(¥amedas¥hourly)以外のフォルダのデータは不要です。

また、(3)でフォルダを指定する際には、必ず以下の点を確認してください。

- ・新版フォルダの入っているフォルダ名が”amedas”であること
- ・”amedas”フォルダ以下のフォルダ構成・フォルダ名称は、新版 CD-ROM と同じであること

2.3.2 旧版フォルダの指定

「2.1.2 旧版フォルダの指定」と同様に指定を行います(図 13 参照)。

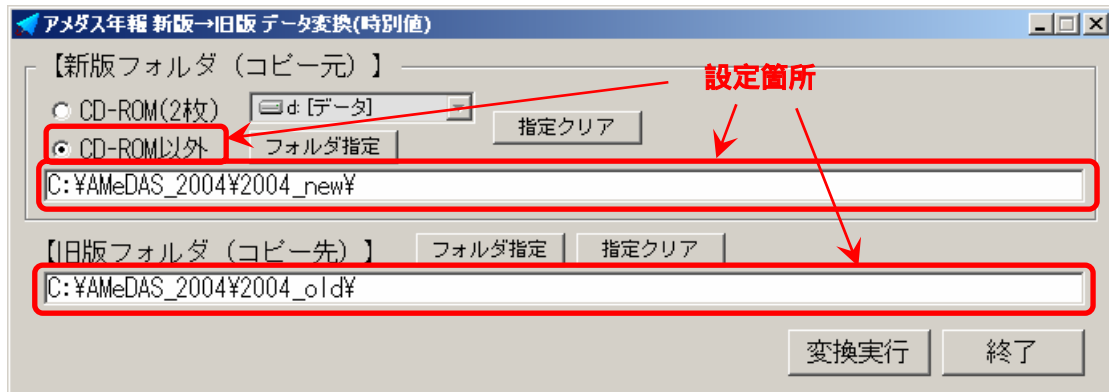


図 13 ハードディスクに新版データがある場合の変換設定例

2.3.3 変換の実行

「2.1.3 変換の実行」と同様に指定を行います。ただし、(4)の CD-ROM 交換処理はありません。処理速度の向上のために、事前に CD-ROM の新版フォルダをハードディスク等にコピーしていた場合、変換作業が終了したら、ハードディスク等に作成した新版フォルダは、削除して構いません。

3. プログラムの終了

ウィンドウ右下にある「終了」ボタンを押します。

確認のメッセージボックスが表示されるので「はい」を押します(図 14)。

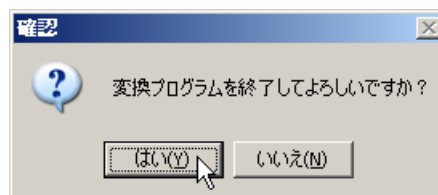


図 14 プログラム終了の確認メッセージ

< 注意事項等 >

1. アメダスデータ変換に要する時間

新版データの読み込み場所、パソコンの性能、変換データ量にもよりますが、変換には時間がかかります。特に、CD-ROMからデータを読み込む場合は時間がかかります。ハードディスクに余裕があり、かつ、比較的性能の良いパソコンの場合は、CD-ROMデータをハードディスクにコピーして処理を行った方が、CD-ROMデータをハードディスクにコピーする時間を考慮しても、速く変換処理を行う事ができます。

参考として、以下の条件で計算を行った際に、データ変換に要した時間（CD-ROM交換等の時間を除く）を示します。

アメダスデータ…「アメダス年報 2005 年(①)」「②アメダス再統計値 1991 年(②)」を使用

ケース1

OS : Windows XP Professional SP2
CPU : AMD Athlon(tm) 64×2 Dual-Core Processor 3800+
メモリ : 2GB

CD-ROM2 枚からハードディスクに旧版ファイル作成 : 約 33 分(①)
ハードディスクの新版ファイルから旧版ファイル作成 : 約 7 分(①, ②)

ケース2

OS : Windows2000 Professional SP4
CPU : Intel Celeron 566MHz
メモリ : 256MB

CD-ROM2 枚からハードディスクに旧版ファイル作成 : 約 50 分(①)
ハードディスクの新版ファイルから旧版ファイル作成 : 約 46 分(①)、約 29 分(②)

2. 「指定クリア」ボタンについて

【新版フォルダ（コピー元）】、【旧版フォルダ（コピー先）】指定箇所に「指定クリア」ボタンがあります。このボタンを押すと、それぞれのフォルダ指定が、初期画面の状態（図 2 参照）に戻ります。

フォルダ指定等を間違えた場合は、再度フォルダ指定を行えば変更が可能ですので、通常は押す必要はありません。完全にフォルダ指定前の状態に戻したい場合のみ、押してください。

3. 変換処理の中断

変換実行中は、処理中にエラーが起こらない限り、処理の中断はできません。予想外のエラーが発生する可能性があるため、処理の中断は基本的には行わないでください（例外的に、【新版フォルダ（コピー元）】で「CD-ROM(2 枚)」を選択している場合、CD-ROM 交換時のメッセージボックス（図 7）で「キャンセル」を選択する事により、中断が可能です）。

やむを得ず処理を強制的に中断したい場合、ウィンドウ右上の「×（閉じる）」を押して、プログラムを終了させてください。その際に、処理中に作成された【旧版フォルダ（コピー先）】に“amedas”フォルダが不要な場合は、手動で削除してください。

4 . 旧版 1999 フォーマットへの変換について

1999 年以前のアメダスデータを変換する際には、アメダス年報 1999 年以前のフォーマットに変更を行っていますが、変換作成されるのは、時・日別値データ（AMDyyyy.mm、ASHyyyy.mm）及び観測所地点情報ファイル（IDXyyyy.mm、SIDXyyyy.mm）の 4 種類のファイルです（yyyy=西暦年、mm=月）。

また、変換されたファイルは、アメダス観測年報の同名ファイルデータとは、以下の違いがあります。

- ・ 時・日別値データのうち、日別値データについては、全て欠測としています。
- ・ 1 ヶ月間全てのアメダスデータが欠測である観測所については、アメダスデータは作成されません。また、観測所地点情報ファイルにも出力されません。
- ・ 観測所地点情報ファイルの「観測所名(カタカナ略)」については、単に観測所名の最初から 7 文字としているため、アメダス観測年報の略称とは異なる場合があります。
- ・ 観測所地点情報ファイルの緯度・経度は、世界測地系です。